

平成24年度
実施事業

事務事業名 中小企業者事業資金利子補給金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	2	安定した企業活動を支える良好な経営環境の創出
主要な施策	2	②経営基盤の強化
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 56 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	中小企業者の資金調達に係る負担を軽減することにより、その事業活動を支援し、中小企業者等の経営の安定と発展を図ることを目的とする
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	中小企業特別融資制度の小口事業資金、団体事業資金、新分野進出支援資金の利用者に対し、利子補給を行う。 【事業実績】 (補給率) 小口事業資金 年0.40% 団体事業資金 年1.50% 新分野進出支援資金 年0.70% (補給実績) 4件(平成22年度以降)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	景気の低迷が続くなか、市内中小企業団体及び小規模企業者等の経営の安定化を目的に実施している事業であり、平成22年度に実施した制度改正により需要も出てきたことから、継続して実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市中小企業振興条例 登別市中小企業者事業資金利子補給要綱

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	44	34	173	173	173
事業費 合計			44	34	173	173	173

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 申請件数(当該年度)	件	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	0	1			
	② 実施件数(当該年度)	件	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4			

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等 ・ 中小企業を取り巻く経済状況は依然として厳しい。	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等 ・ 市内中小企業団体等の経営の安定化に寄与する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 市の制度融資と関連した中小企業者の経営支援を目的とした制度であるため、市が主体的に実施すべきものである。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 中小企業者を取り巻く経済状況は依然として厳しい状況であることから、事業の必要性は高い。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 利子補給は償還まで続き、費用と労力を要するものであるが、経済が好転しない状況下にあっては止むを得ない。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 小口事業資金貸付制度の利用が増えており、当制度による支援も併用することで、中小企業者の資金調達の負担が軽減されることとなり、その経営の安定化と発展に対し成果を上げている。

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	景気低迷が続くなか、市内中小企業者等の経営の安定化等を目的に実施している事業であり、平成22年度に小口事業資金の制度内容を改正したことで利用実績が増加しており、当事業の実施に対するニーズがあるものと判断されることから、引き続き事業の継続により中小企業者等に対する支援を継続する必要がある。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
-----------	----	--